

◆令和4年1月～12月事故の状況◆

【事故の特徴】

☆事故件数は「**86件**」発生しており、過去5年平均に比べ17件程度多い状況。

☆労働災害が「**45件**」発生しており、過去5年平均に比べ6件増加。

☆休業4日以上労働災害は「**9件**」で例年並みだが、休業4日以上にならないまでも例年に比べ労働災害、公衆災害共に発生件数が非常に多くなっている。

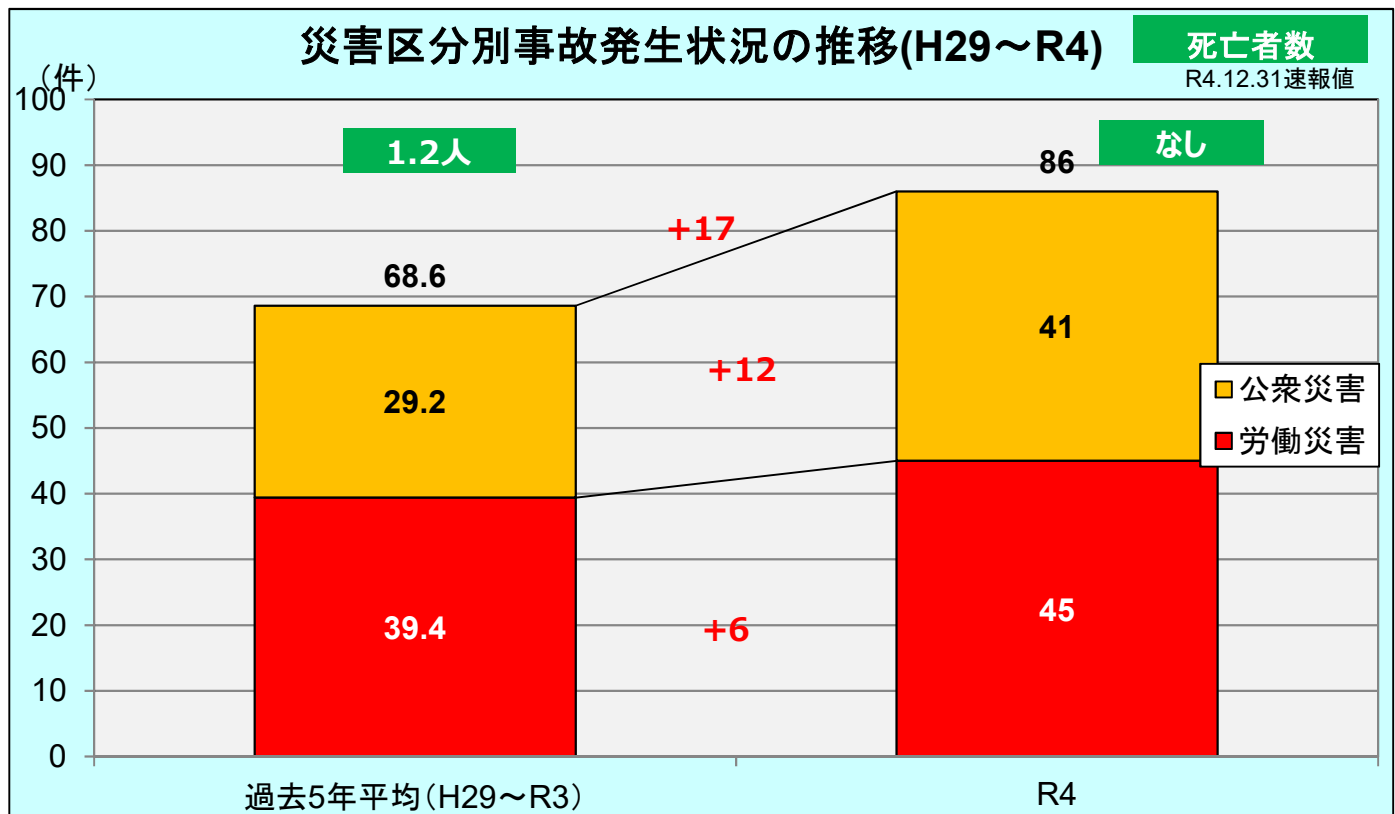
◇ 月別の発生状況を見ると、1月～3月の積雪期での事故発生率が例年に比べ大幅に増加している。年度末に工期を迎える工事等について、安全管理の徹底を！

1. 工事事故の発生状況

1) 過去5年平均との比較

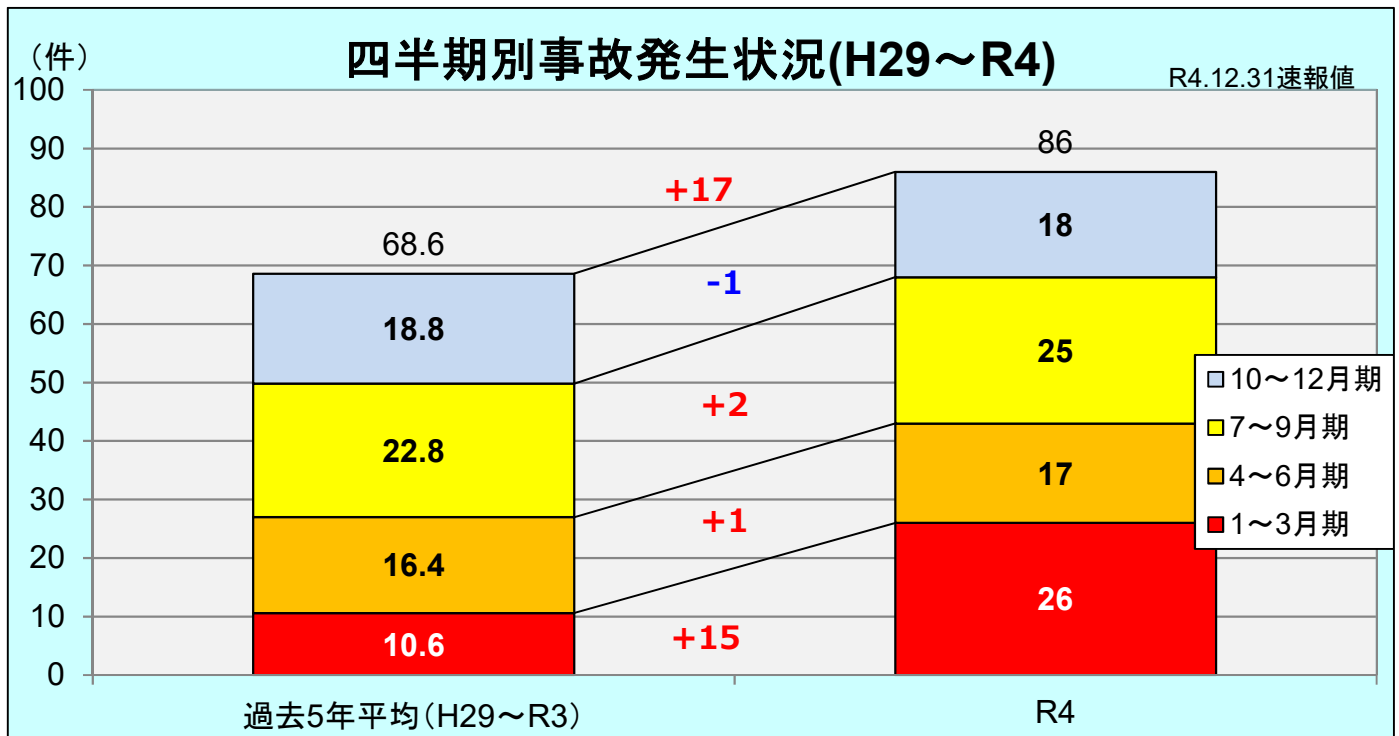
※使用している数値は速報値であるため、今後変更となる可能性があります。
※北陸地方整備局発注の直轄工事を対象としています。

R4（1～12月）の事故件数は86件で、過去5年平均と比較すると17件多い状況です。過去5年平均と比較して労働災害は45件で6件、公衆災害は41件で12件、それぞれ増加しています。



2) 四半期別の事故発生状況

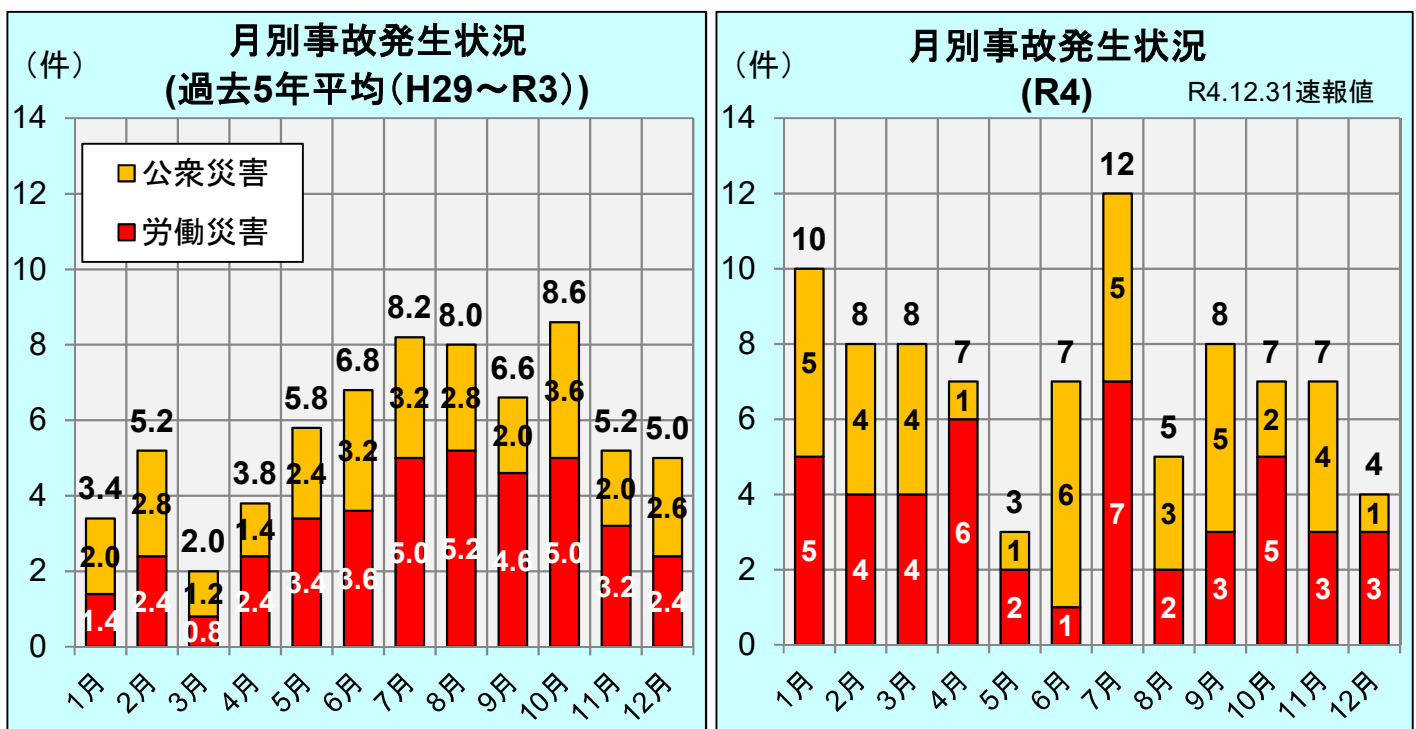
第一～三四半期まで過去5年間の発生件数を上回っており、第四四半期も例年並みで発生件数自体が多く推移しています。



※数値は速報値であるため、今後変更となる場合があります。
 ※北陸地方整備局発注の直轄工事

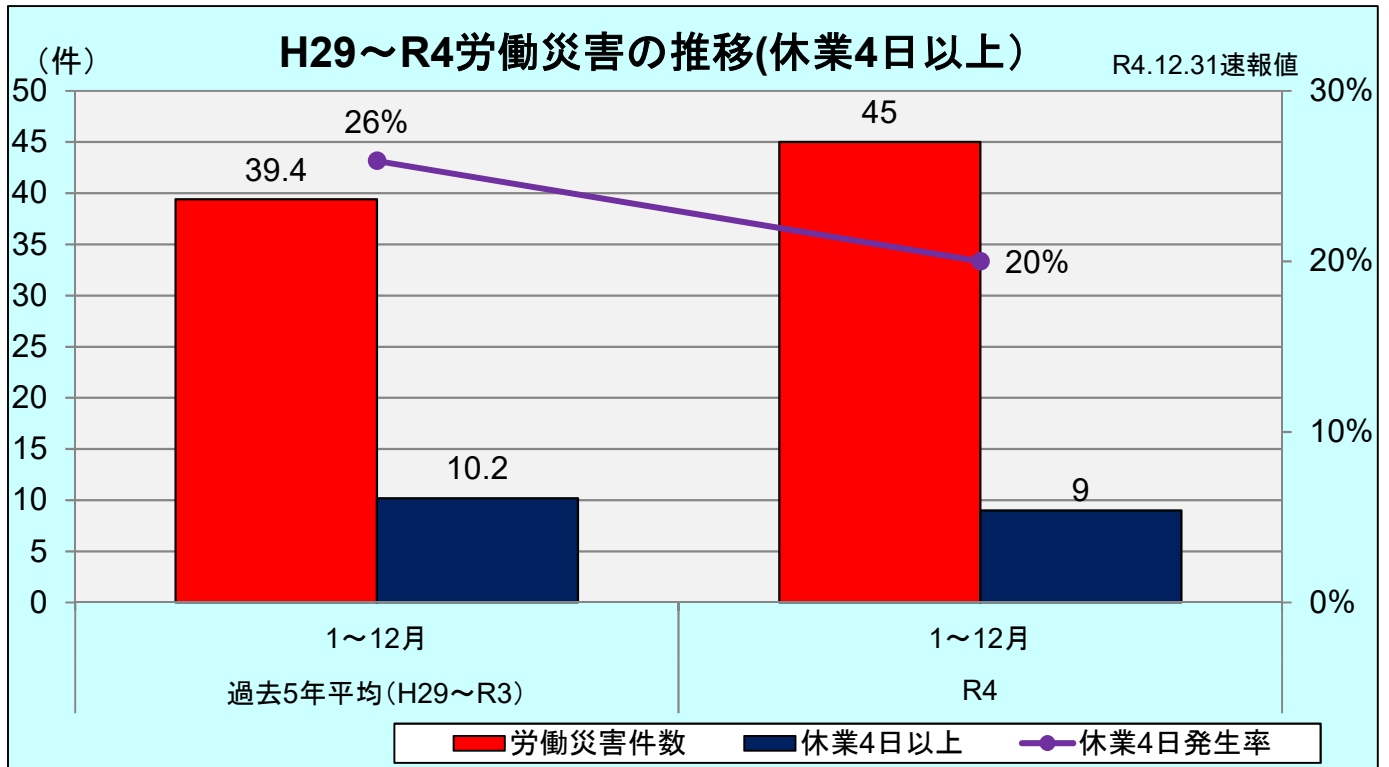
3) 月別の事故発生件数

過去5年平均と比較すると、5、8、10、12月以外の全ての月で増加しています。全体を通して公衆災害の増加が著しいです。



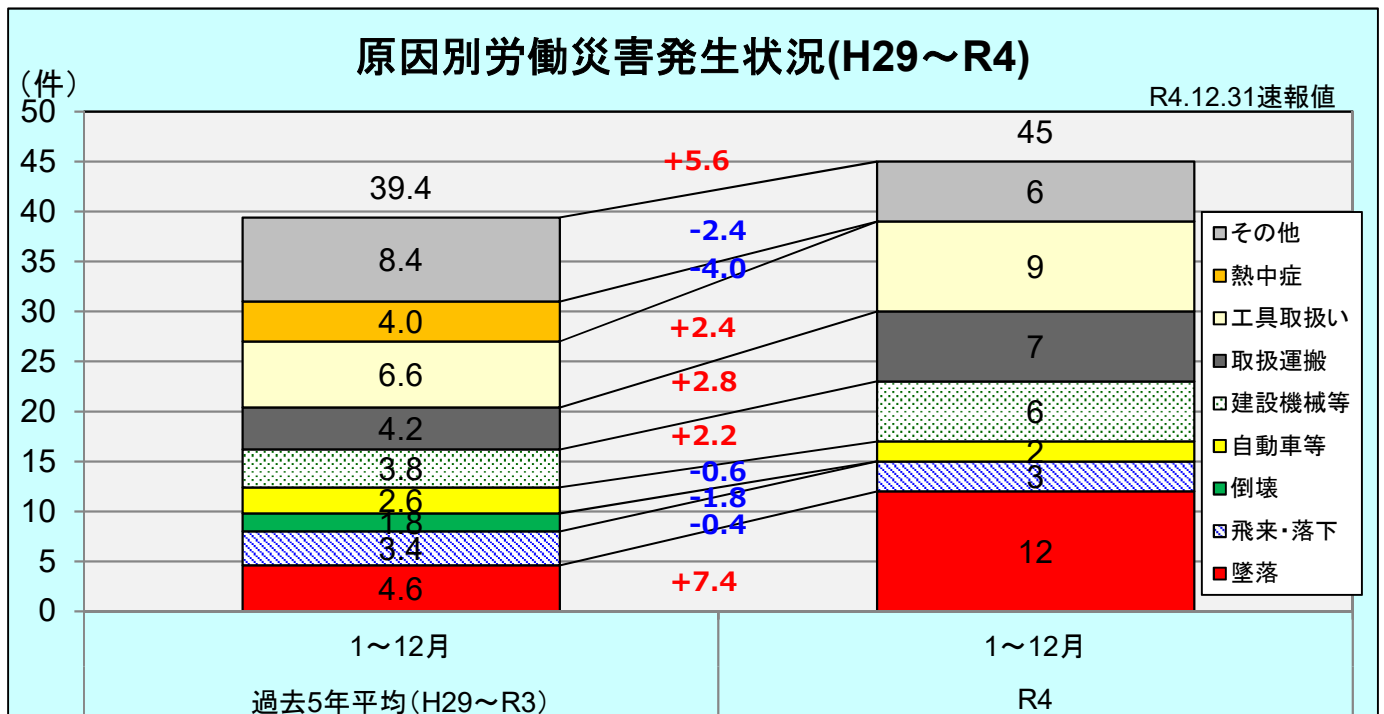
4) 休業4日以上 の事故発生状況

R4の労働災害は45件のうち休業4日以上 の事故は9件発生しています。重大事故の割合で見ると、過去5年平均の26%から20%に減少していますが、労働災害の件数自体が増加しており、発生件数は過去5年の平均並みとなっています。



5) 労働災害の原因別事故発生件数

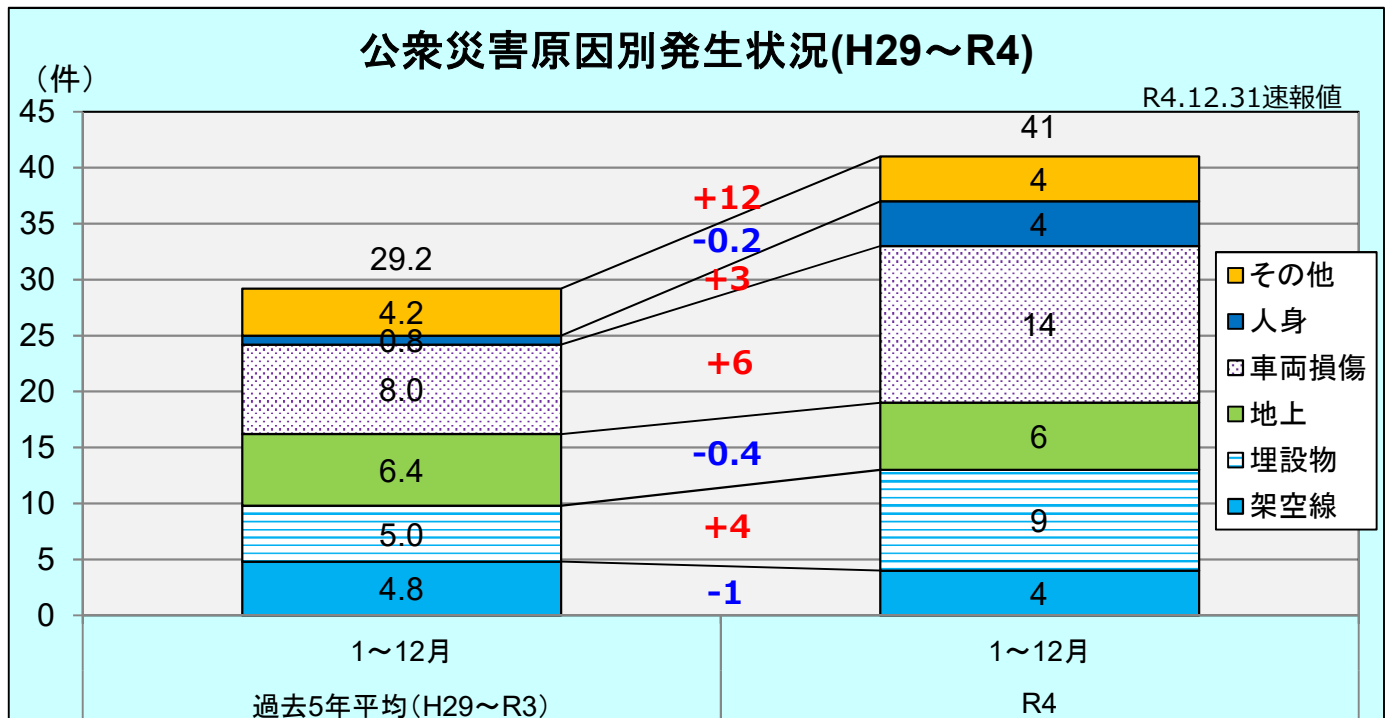
R4の労働災害は45件で過去5年平均と比べ6件増加しています。労働災害の原因は、工具取扱い、取扱運搬、建設機械等、墜落の事故が増加しています。一方で、熱中症、倒壊に関する事故は減少しました。



※その他:土砂崩落・落盤・電気・爆発・港湾・その他事故等 — 3 —

6) 公衆災害の原因別発生状況

R4の公衆災害は41件で過去5年平均と比べ12件増加しています。R4の原因別発生状況は過去5年平均と比べると、人身、車両損傷、埋設物の事故が増加しています。



※その他:室内・壁内損傷、水質汚濁、その他事故等

2. 事故発生事例

①ボーリングにより農業用水用パイプラインを破損（公衆災害）

※事前の確認不足が多く見られるので事前確認の徹底を！

- ①日 時:令和4年8月1日(金) 9:45頃
- ②工事内容:ボーリング調査
- ③事故内容:現地でのボーリング調査中、深度1.5mまで掘進したところで塩ビ管の一部を確認し、農業用水用のパイプラインの損傷と判断された。
- ④被害状況:農業用水用のパイプラインの損傷



ボーリングでくり抜いた塩ビ管の一部

【事故発生原因】

・埋設物の有無については事前に施設管理者に確認し、用心のため試掘も行っていましたが、埋設物管理者と資料を突き合わせた確認が出来ていなかったため。

②ダンプトラックが道路外へ横転（労働災害）

※運搬車両での道路外への転落、横転事故は毎年発生しており、大けがに繋がる！

- ①日 時:令和4年9月5日(月) 13:30頃
- ②工事内容:土砂運搬
- ③事故内容:ダンプトラックが側溝に脱輪し、道路外へ横転
- ④被害状況:右膝打撲、橋梁欄干部の破損



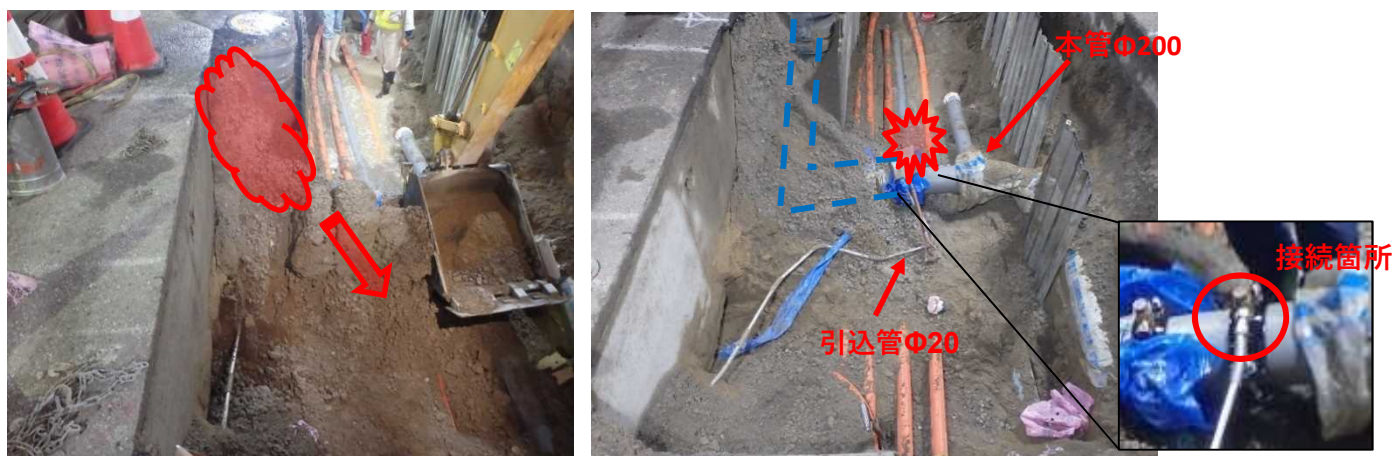
【事故発生原因】

- ・大型鉄屑運搬車とすれ違う際、幅員が狭かったため路肩側にハンドルを切りすぎたことから橋梁欄干部を損傷、道路外へ横転した。
- ・外側線をはみ出さない程度に避けるべきだった。

③人力掘削作業中、砕石層がくずれ水道管を損傷（公衆災害）

※埋設管周辺での作業はより一層周辺状況に留意を！

- ①日 時:令和4年11月29日(火) 0:10頃
- ②工事内容:電線共同溝
- ③事故内容:水道管周りを人力掘削中、砕石層がくずれ露出済みの水道管に砕石が当たり、亀裂が生じた。
- ④被害状況:水道本管Φ200と引込み管Φ20の接続部破損、漏水(断水なし)



【事故発生原因】

- ・埋設管を確認し、周辺施工は慎重に行っていたが、くずれる恐れのある砕石層を見落としていた。
- ・露出管への保護がされていなかった。

3. まだまだ降雪の可能性あり！年度末にかけての安全対策に留意しましょう！

まだまだ気温が低く、天候の変化が起こりやすい状態は続きます。R4年内の工事事故はこれまでも述べたとおり、1～3月期に発生率が増加していました。

これから工期末を向かえる現場も多くあるかと思いますが、労働災害を防止するために、安全に対する意識や取組を再度確認し、事故防止対策の徹底をお願いします。

令和5年1月24日

新潟地方気象台 発表

北陸地方 3か月予報

予報期間 2月から4月 <予想される向こう3か月の天候>

平均気温は、平年並みまたは高い確率ともに40%です。

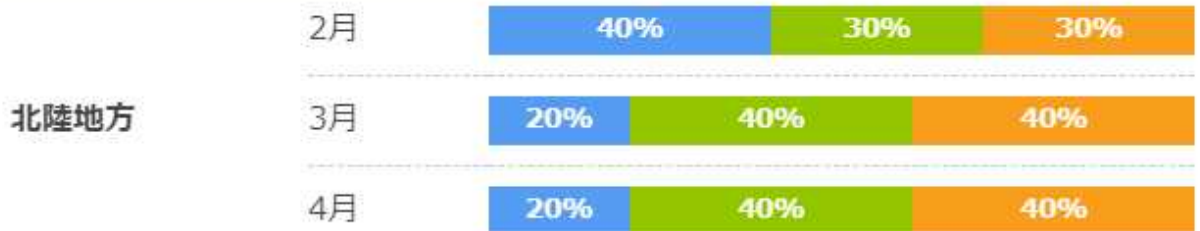
2月 平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう

3月 天気は数日の周期で変わるでしょう。

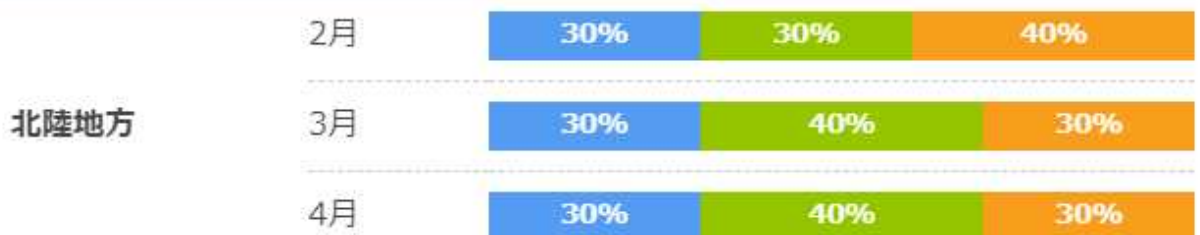
4月 天気は数日の周期で変わるでしょう。

■ 平年より低い(少ない) ■ 平年並 ■ 平年より高い(多い)

気温



降水量



建設工事事故データベース(SAS)の登録を忘れずに

- ・建設工事事故データベース(SAS)への登録をお願いいたします。
- ・建設工事事故データベース(SAS)は、地方整備局・都道府県・政令指定都市・機構等が発注する公共工事で発生した一定規模以上の事故の事故報告データの集合体です。収集されたデータは、建設工事事故対策検討委員会や発注者において、工事事故防止に向けた対策の検討・立案に利用しています。
- ・**休業4日以上**の建設工事事故について、受注者・発注者は必ずインターネットを利用して登録(入力)してください。

ホームページ: <https://sas.hrr.mlit.go.jp/>



- ・対象工事は、以下の通りです。
- ・登録の際は、主任監督員・受注者への事故番号、パスワードを主任監督員宛てに技術検査官より通知します。
- ・登録に関する詳細については、ホームページ内の「SASのガイドライン」を参照して下さい。
- ・登録する対象工事

※ 工事区域: 工事作業現場内及び隣接区域

事故の分類	事故の定義
労働災害	工事区域において工事関係作業が起因して、工事関係者が死亡あるいは負傷した事故。 資機材・工事製品輸送作業が起因して工事関係者が死亡あるいは負傷した事故。 なお、ここでいう負傷とは、休業4日以上を負傷をいう。
もらい事故	工事区域において当該関係者以外の第三者が起因して工事関係者が死亡又は負傷した事故。 なお、ここでいう負傷とは、休業4日以上を負傷をいう。
負傷公衆災害	工事区域における工事関係作業及び輸送作業が起因して当該工事関係者以外の第三者が死傷した事故。 なお、ここでいう第三者の負傷とは休業4日以上もしくはそれに相当する負傷をいう。
物損公衆災害	工事区域における工事関係作業及び輸送作業が起因して第三者の資産に損害を与えた事故にあって、第三者の死傷に繋がる可能性の高かった事故。

【問い合わせ先】 北陸地方整備局 企画部 技術検査官

TEL 025-370-6702 FAX 025-280-8861